

# Atta cephalotes

(Linnaeus, 1758)

## ケファロテスハキリアリ

つやのある赤橙色の、あらゆる大きさの働きアリが、切り取った葉片を巣へ運んで生きた菌園を育てる、ハキリアリの代表格です。



写真：a6475, CC BY-SA 4.0

### ひと目でわかる情報



巣の温度  
**23-27 °C**  
巣の中



巣の湿度  
**85-95 %**  
巣の中



休眠  
**不要**



結婚飛行  
**4月 - 7月**  
雨のあと



働きアリ  
**2-12 mm**  
大型働きアリは最大18 mm



女王  
**22-30 mm**  
女王は1匹



コロニーの規模  
**まだデータがありません**  
成長速度：とても速い

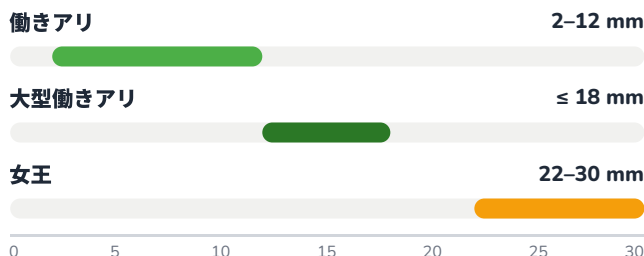


脱走リスク  
**高い**  
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

### 1年をひと目で



### 同じ縮尺での大きさ



### 飼育の早見表

#### 食べ物

新鮮な葉

砂糖

#### おすすめの巣

1. アクリル製の巣
2. 自然再現型のセットアップ

#### この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 毎日新鮮な葉を与える菌園が必要です
- ⚠ 成長がとても速く、たんぱく質と広いスペースがたくさん必要です

### 飼育者からのメモ

#### ヒント

菌には、蓋に穴を開けるだけでなく、空気の流れも作ってあげましょう。菌園は二酸化炭素を出し、それは下にたまります。ある飼育者の水槽では、通気口が上部に1つしかなく、換気を増やすまで菌が壊され続けました。経験豊富な飼育者は、通気口を高い位置と低い位置の両方に設けることを勧めています。菌園の上に小さなフードをかぶせると、アリたちが自分で湿った微気候を作れます。菌に液体の水がかからないようにし、レタスのような水分の多い餌は控えめにしましょう。

#### 注意

涼しい部屋よりも暑さのほうがずっと危険で、しかも室温計は当てになりません。ある飼育者は、部屋が猛暑に見舞われたあと、菌園が週ごとに縮み、ブルードが姿を消すのを目にし、その長く飼っていたコロニーの女王アリは、のちに死んでいるのが見つかりました。ほかの飼育者からも、暖くなりすぎるたびに菌園が縮むという報告があります。菌の部屋の中にブロープ式の温度計を入れ、ヒーターを菌園に触れさせず、夏の冷却対策も計画しておきましょう。